



蔵王山近くの森で地元町内会の協力も得ながら、森林資源を活用した遊び場を創る活動を行っています。森で親子が楽しめる企画を共創塾で知り合ったメンバーで話し合い、環境整備やデイキャンプも行いました。次回はトイノバの運営団体と連携

### 福山未来共創塾 2019 プロジェクト募集!

福山のより良い未来社会実現に向けてアクションしませんか。志をもつ仲間たちと学び思いをカタチにしましょう。


**時** ①9/21(土)、②10/26(土)、③11/24(日)、④12/21(土)、⑤2月下旬(全5回) ※いずれも13:00~17:00:まなびの館ローズコムほか

**内** ワークショップによるプロジェクトの創出と磨き上げ

**対** 福山のより良い未来社会実現に向けて取り組む意欲があり、アイデアをカタチにしたい、原則全ての回に参加できる、活動地域に福山市が含まれている人

**定** 12人(チームでの参加も可)

**申** 9/10(火)までに、専用ページの申し込みフォームから



第1回

思いを深く掘り下げる

第2回

思いを企画にする

第3回

プロジェクトアイデアの試行

第4回

仲間をつくる

第5回


最終発表会

チームによる活動実践

### 手話

本市では手話言語条例に基づき、手話の普及に努めています。手話を覚えて会話をしてみましょう。

**「敬老の日」**



親指を曲げた右手を左手のひらにのせて上に上げ、頭を下げます

親指と人さし指を曲げて「日」の字を作り下に下げます

障がい福祉課  
☎928-1062 FAX 928-1730

その他の手話の動画はこちら



### ローラの月刊「ばらニュース」ロシアのばら事情

こんにちは、ローラです。いよいよ9月20日(金)からアジア初開催のラグビーワールドカップが日本で開幕しますね。今月は日本と初戦で対戦する相手であり、50年の歴史をもつ世界パラ会連合に加盟しているロシアのばら事情について紹介します。

ロシアではばらは最も人気がある花で、切り花市場総額の約70%も占めているんですよ。またロシアの学校では新学期の9月に生徒が先生に花束を贈る習慣があるほか、祝日や記念日によく花をプレゼントしているみたいです。福山でも5月21日をばらの日と定めているんですよ。この日が大切な人にはばらを贈るなど、ばらのまちづくりへの理解と


関心を深めていく記念日としてもっと根付いていくといいな。思いや願いを込めて花を贈ることは世界共通なんですね。花がもつ力です。いいですね。

2024年開催の世界パラ会議福山大会には、ロシアからもたくさんの方が来てくれると嬉しいですね。そして大会を機に、もっと国際交流が盛んになったといいですね!

大会で福山を訪れる多くの人に福山の魅力を知ってもらえるよう、ローラもPRを頑張るね!

100万本のばらのまち福山へ

協働のまちづくり課  
☎928-1051



# 一人ひとりが大切にされ つながり合うまちづくり

まちづくりサポートセンター ☎923-9006

## 未来づくりミーティング 「福山未来共創塾」2019 プロジェクト募集中!



昨年度の福山未来共創塾



幸せあふれる30年後の福山の未来図

### 30年後のより良い 未来社会実現のために

2017年ふくやま未来づくり100人委員会を開催し、幅広い市民が自由に夢やアイデアをもち寄り、30年後の福山の未来図を描きました。より良い未来社会の実現に向け、本市では子育て環境の充実や都市機能の整備などに取り組んでいるほか、未来づくりに意欲のある人たちが集い、対話を通じてチームづくりを行いながら事業化をめざす場として昨年度から「福山未来共創塾」を開催しています。

この共創塾から生まれたプロジェクトは現在も他団体との連携や情報交換などにより、公益性がある活動を継続・発展させています。そんな皆さんに共創塾での体験談や今後の取り組みについて聞きました。

### 共創塾に参加した きっかけは?

●坂本さん 子どもの遊びと暮ら

しデザイン研究所  
ホームページを見て面白そうだなと思い参加しました。漠然としていたやりたいことが参加者との対話や専門家のアドバイスで明確になり、同じ志をもつ人に出会えたのが大きな収穫です。

●佐藤さん めざせ、サイクルシティ!

自転車での通勤や通学の楽しさを伝え、まちを盛り上げるプロジェクトを提案したいと考え、参加しました。さまざまな立場の参加者から意見をもらえたことで、実現化に向けて参考にになりました。

●長嶺さん・岡崎さん(トイノバ)

「問い」を中心とした対話の場を「トイノバ」と名付けて少人数で始めたところ、いろいろな場面での活用にも可能性を感じ、多くの人に知ってもらおうときっかけづくりに参加しました。

●坂本さん(地域の自然を活かした子どもと大人の遊学プロジェクト)

フェイスブックページで知り、興味本位で参加しました。いざ参加すると価値観が合う人や

### 現在の取り組みや 今後の展望は?

●坂本さん  
子どもの発達支援の観点で質が高い遊びと環境をデザインすることを目的に活動を進めています。5月にキッズミュージックフェスティバルで音楽療法を用いた遊びのワークショップを行いました。参加した子どもの主体性や創造性を豊かにするだけでなく、母親からも子どもの成長した姿や可能性を知る良い機会になったと喜んでいました。

また共創塾をきっかけに、市が運営する「みんなのライフスタイル応援会議」へ参加し、人口減少対策への意見を出しながら、行政や企業と一緒に取り組みを実行するための議論を深めています。

●佐藤さん  
市民が参加できるサイクリイベント「シティライド」を計画しています。PRのために5月の福山ばら祭にも出展。連携できそうな他団体の紹介や実施場所候補の選定などについてまちづくりサポートセンターのサポート

